

# *Innovation for Continued Growth*

## *expected role of Information Technology and Knowledge management*

Hisayoshi Fuwa

Corporate Vice President

Corporate Strategic Planning

Toshiba Corporation

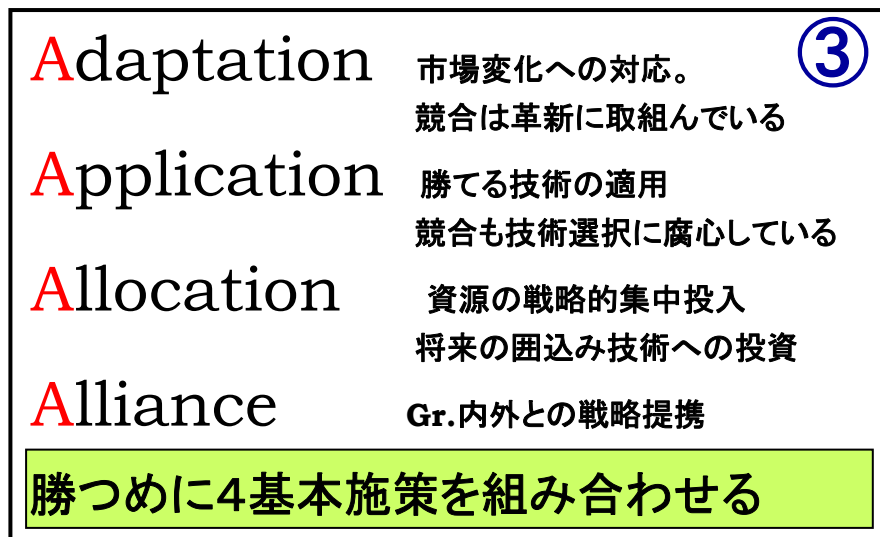
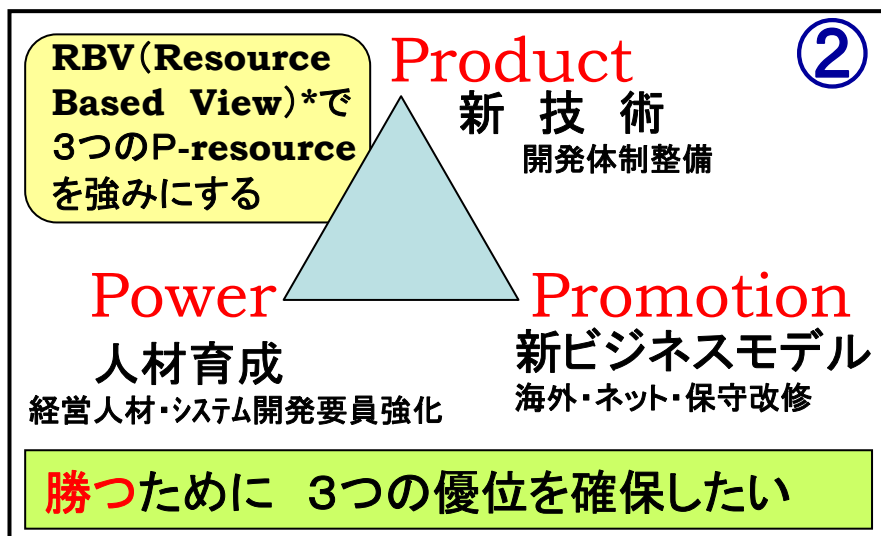
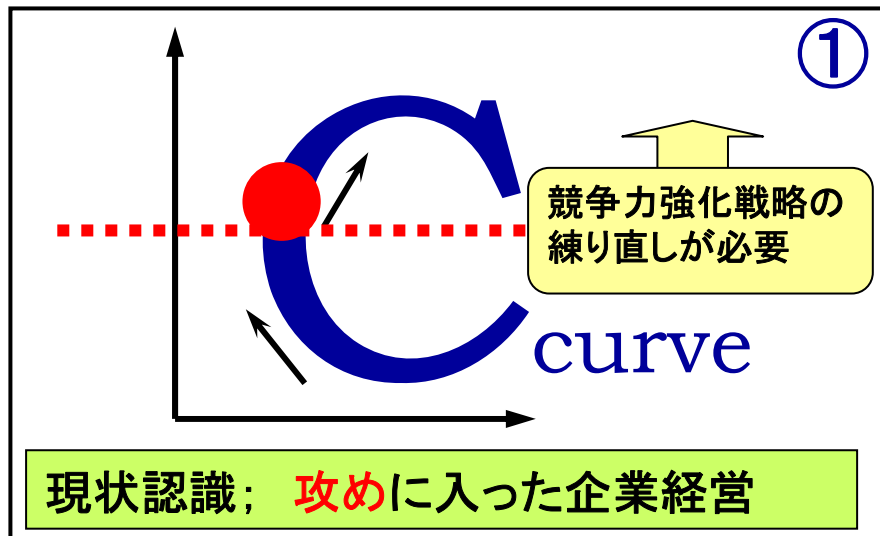
July 25, 2006

---

# イノベーションに重要な役割を期待する理由

①

長い停滞期を脱して、持続的成長へ巨額の資源投入を必要とする企業は事業ポートフォリオと共に  
現有資源の効率性も重要経営課題と認識している。



# 持続的成長のための2つのイノベーション

②

急速にコモディティ化してゆく商品も「低価格」・「機能追加」・「デザイン(感性品質)」を追求して設計・生産・調達・営業(含 物流)の各領域で効率化・加速をはかる。中期戦略の達成には本来の新価値創造のためのイノベーションを起こす。

コモディティ商品

脱コモディティ商品

市場シェアと利益  
を生むために  
やり方を抜本的  
に変える

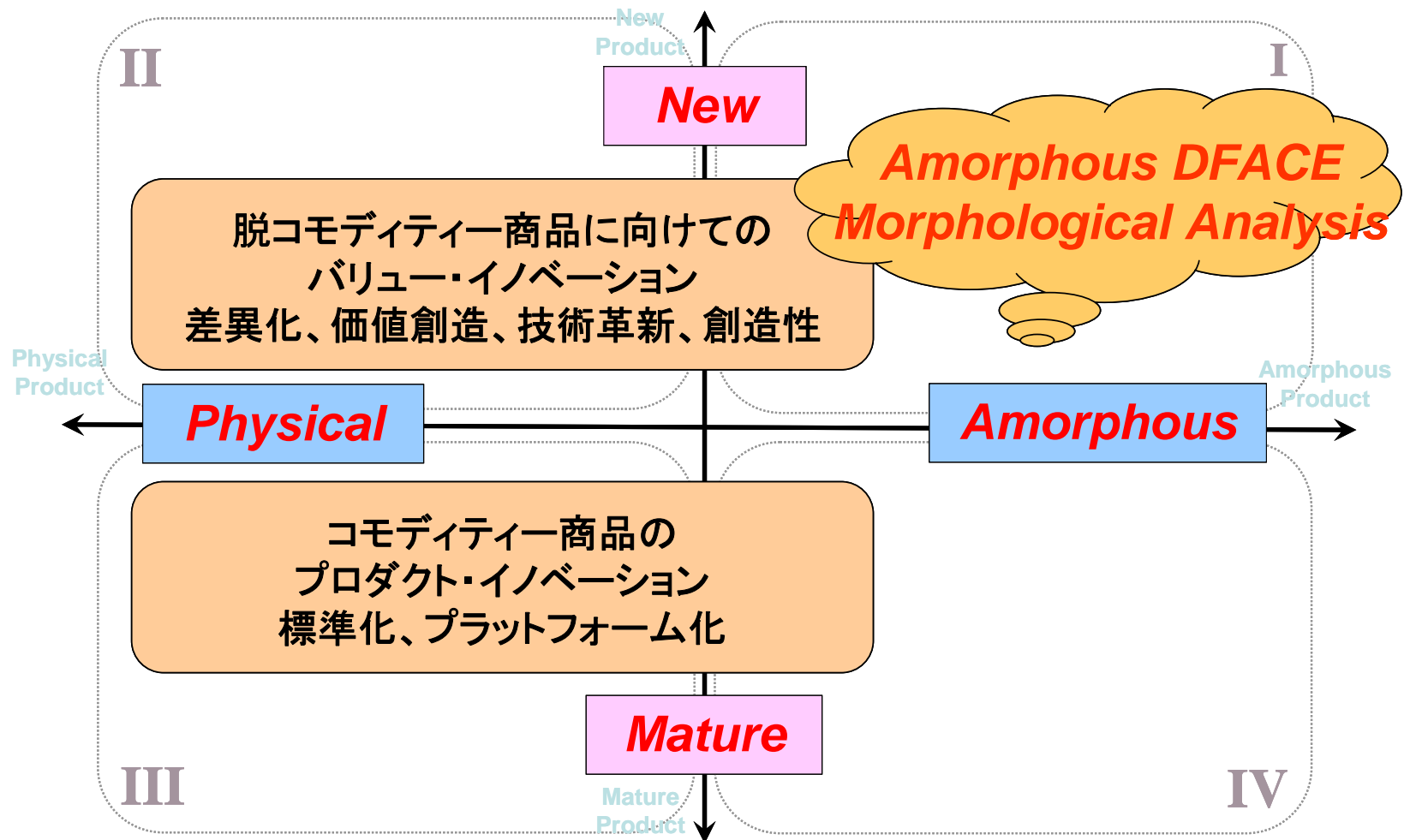
全く新しい  
価値を提供し  
成長する

ヴァリュー  
イノベーション

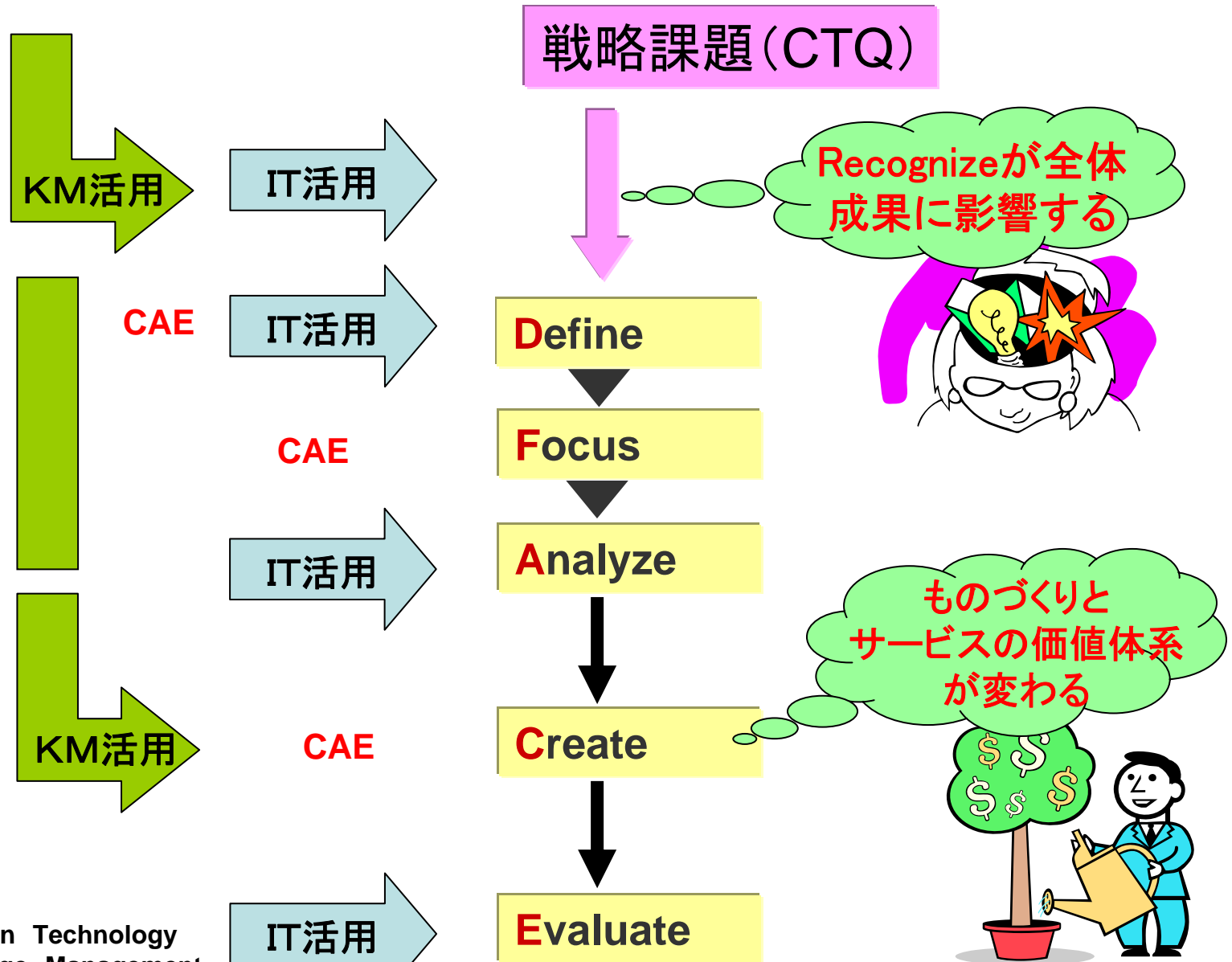
プロセスイノベーション (個別イノベーションの相乗効果が鍵)

# 製造業もサービスのイノベーションに注力する ③

製造業も「安全」・「安心」・「信頼」の視点で価値をあげようとサービスのプロセス改善のイノベーションに注力している。効率向上とサービスの質を改善するという二律背反の課題解決に取り組んでいる。



# イノベーションにおけるITの活用



IT: Information Technology  
KM: Knowledge Management  
CAE: Computer-aided Engineering

# イノベーションを起こすKMの活用

5

持続的成長を実現するには、イノベーションを次々と起こし、これを実行するための組織力が必須。低成長期の知識・経験をいったん壊して再構築することが必要。いまあらためてKnowledge Managementの有効性を評価し、活用することが重要な鍵。



新たな金のなる木を  
見つけ出す

**Value Creation !**



創造性の芽を育て  
活性化し表出させる

**Motivation !**



高いところの実を  
摘み取る

**Stretch !**

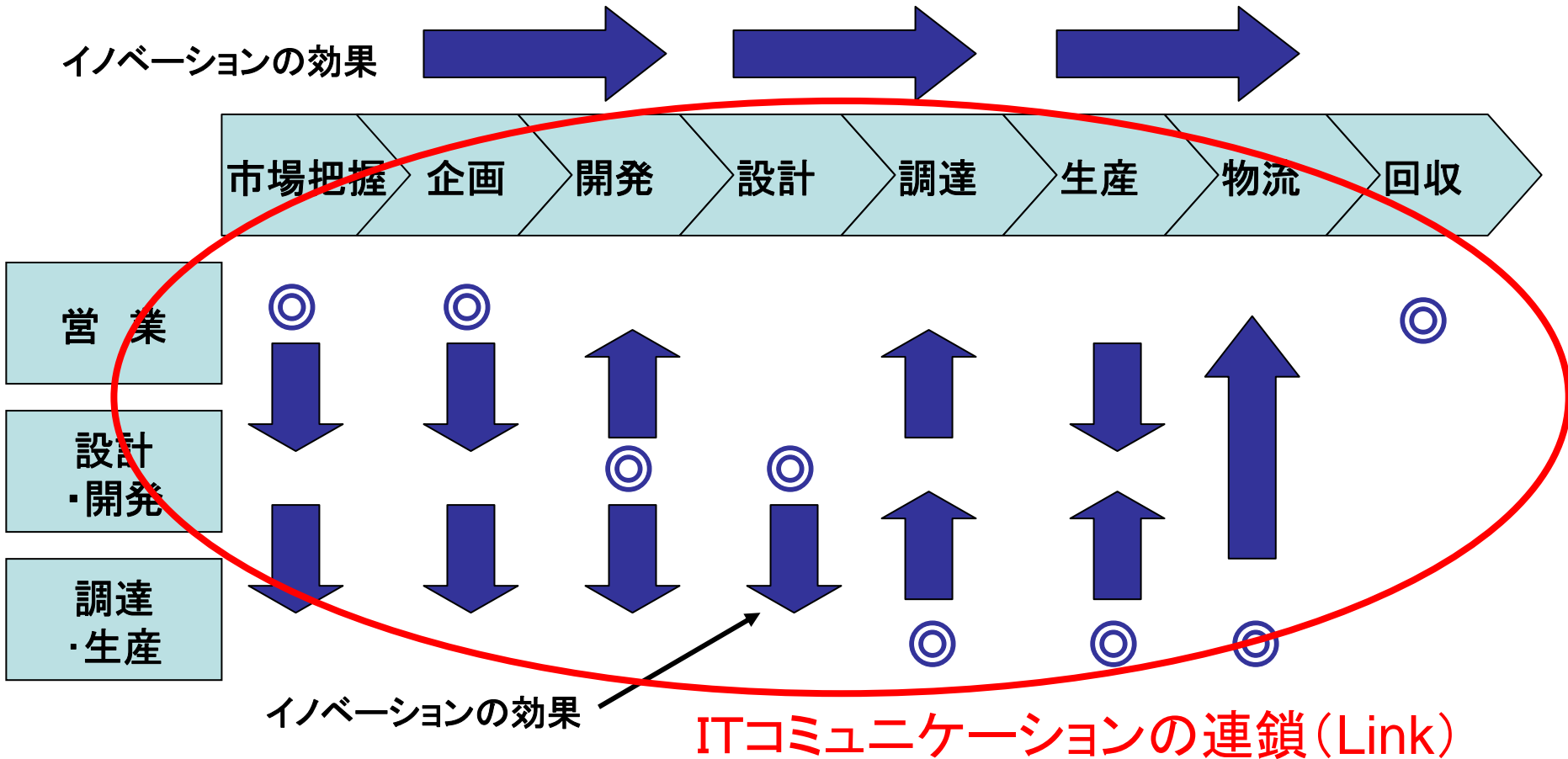


はるかに見える山  
の頂上を目指す

**Jump !**

# イノベーションにおけるIT、KMの活用

↓ イノベーションの効果は、Valuechainに沿って波及する。一方営業、技術、生産などの専門知識・経験は個別体系をつくり上げ、個別最適化を目指したイノベーションを推進する。全体最適化には関係部門相互のコミュニケーションをITで構築する必要がある。



おわり

ご清聴にお礼申し上げます。

---